

2023年4月1日

各位

きらぼしキャピタル株式会社

## 「きらぼしキャピタル夢・はばたき2号投資事業有限責任組合」の ベンチャーデットの取り組み開始について

当社（代表取締役陣内 伸夫）は、当社が運営し、グループ会社の株式会社きらぼし銀行（取締役頭取 渡邊 壽信、以下「きらぼし銀行」といいます。）が出資するベンチャーファンド「きらぼしキャピタル夢・はばたき2号投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」といいます。）を2023年2月1日に組成いたしました。

本ファンドではエクイティに加えて、新株予約権付社債を中心としたベンチャーデット（※1）の取り組みを開始しておりますので、補足いたします。

きらぼしグループは、今後もグループのシナジー効果を発揮し、お客さまのあらゆるライフステージにおける経営課題の解決に取り組むとともに、お客さまの新しい価値を創造する“東京発プラットフォーム”（※2）を目指し、地域経済と地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

### （※1）ベンチャーデット

一般融資とエクイティ投資の中間に位置するファイナンス手法の総称。金利負担や新株予約権の付与を基本的な対価として、経営陣の保有株式シェアの希薄化を防止しながら、資本コストを抑えた資金の調達が可能。

### （※2）東京発プラットフォーム

東京都をはじめとした行政や羽田空港などの社会インフラ、またエンタメやスポーツ分野等の企業と連携し、ハブ機能を発揮することで、お客さまの新しい価値創造や社会課題解決に貢献する地域コーディネーター。

### 【本ファンドの概要（既報）】

名称	きらぼしキャピタル夢・はばたき2号投資事業有限責任組合
設立日	2023年2月1日
ファンド総額	40億1,000万円
有限責任組合員(LP)	きらぼし銀行 40億円出資
無限責任組合員(GP)	きらぼしキャピタル 1,000万円出資
存続期間	10年間（最長2年間の延長可能）
投資方針	主としてベンチャー企業やスタートアップ企業を投資対象とし、株式や新株予約権付社債等の投資手法を用いて、財務基盤強化、事業成長支援等を行うことを目的とします。

【本ファンドのベンチャーデットに係る投資方針】

投資ステージ	ミドル～レイター（主にシリーズ B 以降）
投資領域	下記を除いた業種 ・創薬 ・ゲームコンテンツ ・金融業（フィンテックは可） ・個別の不動産取得及び関連投資
投資金額	1 億円～2 億円（目安）
投資期間	3 年以内
投資方針	成長ファイナンスやブリッジファイナンスを目的とした新株予約権付社債等のベンチャーデットによる取り組みを行います。

以 上